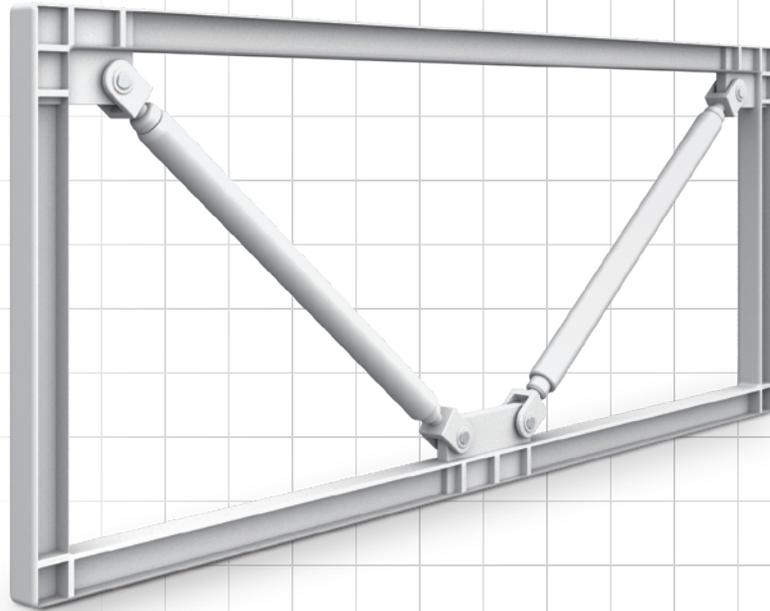


# AD Buckling Restrained Brace 座屈拘束ブレース



「一般評定」取得システム  
一般財団法人 ベターリビング  
CBL SS003-17号

1 軸力を負担する主力管と座屈を拘束する拘束管で構成

2 圧縮耐力は引張耐力と同じ値として設計可能<sup>※1</sup>

3 ピン間距離を±20mmの範囲で調整でき取付容易<sup>※2</sup>

4 クレビスはJIS規格の鋳鋼(SCW620)を採用

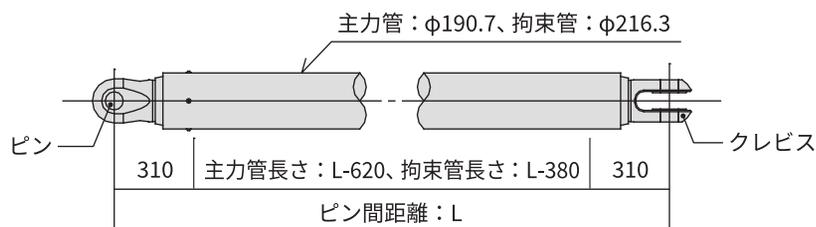
5 ピン(SCM435H)は国土交通省の材料認定を取得

※1...座屈を拘束するため

※2...ターンバックル機構による

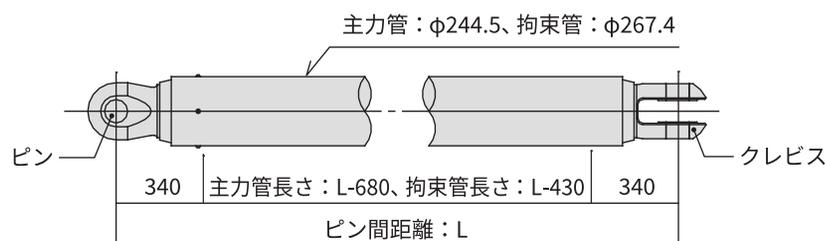
## AD座屈拘束ブレース形状標準図

### ADW-19 主力的管径 φ190.7 拘束管径 φ216.3 ピンシャフト径 φ70



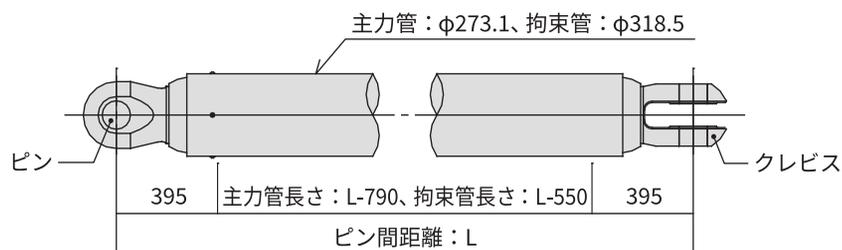
設置例(外部)

### ADW-24 主力的管径 φ244.5 拘束管径 φ267.4 ピンシャフト径 φ90



設置例(内部)

### ADW-27 主力的管径 φ273.1 拘束管径 φ318.5 ピンシャフト径 φ110



実大加力実験

## 部材表

製品番号	主力的管(mm)			拘束管(mm)		圧縮・引張 耐力(kN)	最大ピン間 距離(mm) <sup>※1</sup>
	径(mm)	厚さ		径(mm)	厚さ		
		STKN400B	STKM13A		STK400		
ADW-1907	φ190.7	7	-	φ216.3	8.2	1,042	5,726
ADW-1908		8	-			1,185	5,261
ADW-1910		10	-			1,465	4,533
ADW-1912		-	12			1,590	4,200
ADW-2410	φ244.5	10	-	φ267.4	6.6	1,901	4,860
ADW-2412		12	-			2,261	4,263
ADW-2415		-	15			2,552	3,800
ADW-2712		12	-			2,540	6,000
ADW-2715	φ273.1	15	-	φ318.5	10.3	3,138	4,825
ADW-2718		-	18			3,404	4,335

※1 安定限界軸ひずみ：εu=0.21%の場合

実大加力実験によって、ブレース耐力およびクレビス、ピン、ガセットプレートの安全性が確認されており、ガセットプレート部の形状、寸法は標準化されていますので、これを用いることによって検討を省略することができます。主に耐震補強用として用いることを想定しています。

